

公益財団法人日仏会館 事業計画  
2024年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

日仏会館は2024年3月7日に創立100周年を迎える。これを記念して、2023年4月より2ヶ年を掛けた、100周年記念事業を開始しており、今年度はその2年目となる。昨年度に引き続き、今年度も100周年に相応しいイベントを多数企画している。特に大きなイベントとしては、日仏シンポジウム「両大戦間期フランスの表象」や日仏文化講座「思想としての連帯とオートノミー」、同「近代日本の歴史学とフランス」等が挙げられる他、春秋講座「古代文学の現代的意味」などもあり、相当に充実したラインナップとなっている。同じく100周年を記念して取り組んでいるウェブサイトの刷新も具体的な検討を進めている。日仏会館が企画する各イベントを文化的な資産と考え、これをデジタル・アーカイブ化し、直接イベントに参加できなかった方々を含め、日仏の文化に興味を持つ多くの方々に利用して頂くような新たな仕組みを模索しており、これと連携する形でウェブサイトを構築する予定である。全面的な改訂になるため、予想以上に時間を要しているが、今年度中頃に公開できることを目指している。デジタル・アーカイブ化の実現に当たっては、2023年11月より100周年を記念した寄附の募集を開始しており、多くのご賛同を得ているところだが、今年度も引き続き募集を継続しご協力をお願いしていきたい。昨年度5月のコロナウイルスの感染症法上の5類移行を経て、イベント開催を、これまでのオンライン開催から、対面開催を中心とする方向に舵を切った。対面とオンラインの両面を活かした、いわゆるハイブリッド開催も継続しているが、イベント毎に適した開催方法を模索している。対面での開催が必須であるフランス語コンクールは、昨年度3年ぶりの開催となったが、今年度も引き続き対面での決勝大会を予定している。

日仏会館の財政基盤は、会費収入を始め、有価証券の運用や、不動産の賃貸収入に負っているが、コロナ禍によって休止していたホール・会議室等のレンタルは、コロナ5類移行を受けて、2023年5月より貸出を全面再開したものの、コロナ前の収益水準確保には至っていない。また、比重の大きい有価証券の利金収入は、昨今の円安や金利上昇によるプラスの効果はあるものの、外貨建ての運用が中心であり、安定的な収入基盤と言える状況ではない。一方、昨年度の新規テナント入居は収益改善に寄与しており、今後も立地や集客力等の検討を含め、建物の有効活用を軸に財政基盤充実を図っていく。以下、2024年度の事業計画について重点項目を説明し、次いで具体的な事業内容につき述べることにする。

－重点項目－

1. 会館事業の充実

昨年度より2ヶ年に渡り、100周年記念イベントを順次開催している。会館ホールに直接足を運ぶホール参加数の減少が懸念されたが、オンライン開催から対面開催に軸を移して展開していることもあり、まずまずの参加者数を確保している。

2. 日仏の関連諸団体との共同・支援事業

コロナ禍の影響により、地方日仏協会との交流旅行や、新年会等の開催を中止とせざるを得なかったが、昨年度は全国の日仏協会の代表者による会合を設けることができた。関連団体とのネットワーク維持並びに新たな関係構築が肝要と認識しており、イベントの共催や広報協力を通じた協力関係を拡げていきたい。

3. 広報の充実

イベント告知冊子「Prochainement」並びに、メールニュースの改良を図っている。定期刊行物『日仏文化』については、研究者を含む多くの方々の利便性を考慮し、更に進んだ電子化を進めている。ウェブサイトや会報「ヌーヴェル」の充実を図ると共に、SNSを活用した広報の拡充に取り組んでいる。

4. 事務局体制の強化

事務局業務は多岐に渡り、これに対応できるような体制作りを心掛けると共に、引き続き各職員のスキル向上を図る予定である。

5. 個人・法人賛助会員増加策の検討

財政基盤の強化には、個人・法人賛助会員の増強並びに寄附金の増強が不可欠である。個人・法人賛助会員ともに漸減傾向が続いており、これに歯止めを掛けるべく、会員に魅力のあるイベント・セミナーの開催などを模索している。

— 具体的事業内容 —

1. 公益事業 1：日仏両国の文化・学術研究に関する交流促進及び講演会・シンポジウム・出版物等を通じた研究成果の普及事業

< 学術文化事業関連 >

(1) シンポジウム・文化講座

① 日仏シンポジウム

- 1) 「両大戦間期フランスの表象—戦争、植民地、女性」<100周年記念イベント>  
(2024年7月20日(土)、21日(日)、ホール、対面開催/同時配信/録画配信)  
登壇者：澤田直(立教大学、(公財)日仏会館)、ジゼル・サピロ(フランス国立科学研究所)、大久保恭子(京都橘大学)、永井敦子(上智大学)、中村隆之(早稲田大学)、大久保清朗(山形大学)、野崎歓(放送大学、東京大学名誉教授)、ローラン・ヴレ(ソルボンヌ・ヌーヴェル大学)、木下千花(京都大学)、ドミニク・ベルテ(アンティエユ大学)、小川美登里(筑波大学)  
\*助成：(公財)石橋財団  
\*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所
- 2) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催の日仏シンポジウム企画については、後出の「協力」に記載

② 日仏文化講座

- 1) 「思想としての連帯とオートノミー」<100周年記念イベント>  
(2024年6月1日(土)、ホール、対面開催/録画配信)  
登壇者：山元一(慶應義塾大学)、川出良枝(東京大学)、西海真樹(中央大学)、川島周一(明治大学)、北川忠明(山形大学)、伊達聖伸(東京大学)、金山準(北海道大学)、北垣徹(西南学院大学)、高橋信行(國學院大學)、矢後和彦(早稲田大学)
- 2) 「近代日本の歴史学とフランス——日仏会館から考える」<100周年記念イベント>  
(2024年12月14日(土)、ホール、対面開催/録画)  
登壇者：長井伸仁(東京大学)、前田更子(明治大学)、高橋暁生(上智大学)、小田中直樹(東北大学)、高澤紀恵(法政大学)、平野千果子(武蔵大学)、森村敏己(一橋大学)、藤野裕子(早稲田大学)

③ 日仏科学講座

未定

(2) 講演会

① 日仏文化講演シリーズ(月例講演会)

- 1) カフェトーク「フランスモード200年の変遷～ロココからベルエポックまで」  
(2024年4月11日(木)、ギャラリー、対面開催)  
講師：長谷川彰良(衣服標本家)  
司会：丸山有美(アトリエ・オルフェ代表)
- 2) 「フランスとルワンダー対アフリカ外交の蹉跌と転換」  
(2024年4月19日(月)、ホール)(対面開催)  
講師：武内進一(東京外国語大学)  
司会：平野千果子(武蔵大学)
- 3) 憲法講演会「安全保障と立憲主義 「戦力を憲法で縛る」とはどういうことか」  
(2024年5月8日(水)、ホール、対面開催)  
講師：井上達夫(東京大学名誉教授)  
司会：山元一(慶應義塾大学)

(3) 教養講座等

① 日仏会館教養講座  
開催日未定

② 食文化講座  
開催日未定

③ ビジネス講座

- 1) 「日仏間のビジネスコミュニケーション力とネットワーキング力—佐藤弘一株式会社シ  
ュークルキューブジャパン代表—」(仮)  
(2024年5月15日(水)、ギャラリー、対面開催)  
講師：佐藤弘一((株)シュークルキューブジャパン代表取締役社長)  
司会：藤原邦一((株)藤原プロデュース代表)

(4) コンサート・上映

① 映像と講演  
年3回開催予定

② フランス音楽の夕べ  
(2025年1-3月、ホール、対面開催)  
歌曲コンサート開催予定(対面開催)

③ レクチャーコンサート  
1) 藤田茂講演会とミニコンサート(対面開催)  
(2025年1月~3月 ホール)  
講師：藤田茂(東京音楽大学)  
演奏：弦楽クアルテット

(5) ギャラリー展示

<出版・広報関係>

(1) 書籍出版

① 日仏会館ライブラリー  
特になし

② 関連書籍出版  
特になし

(2) 会誌『日仏文化』

4月に100周年記念号となる93号を、9月に94号を発行予定

(3) ニュースレター「NOUVELLES」

2024年9月に172号、2025年3月に173号、年2回発行予定

(4) イベント案内「Prochainement」

2024年3月に4-5-6月号、6月に7-9月号、9月に10-11月号、11月に12-1月号、2025年1月に

2-3月号、年5回発行予定

(5) メール版「Prochainement」

(4)の「Prochainement」に合わせてイベント案内を発行する他、臨時にイベント情報を送付会員、日仏関連学会、日仏協会、関係者・送付希望者に送付

(6) ウェブサイトの運営

- ① ウェブサイト(<https://mfjtokyo.or.jp>) (更新随時)
- ② YouTube 動画公開 25 本
- ③ X (旧 Twitter) フォロワー1031 人
- ④ Peatix (<https://mfj.peatix.com/>) フォロワー2042 人

2. 公益事業2：日仏両国の文化・学術研究に関する作品の公募、表彰及びフランス語コンクールを通じた、文化・学術の振興を目的とする事業

(1) 第41回渋沢・クローデル賞

日仏両国においてそれぞれ相手国の文化に対する研究成果を示す優れた著作や翻訳書を選んで授賞（日本側は本賞・奨励賞）する

〔日本側〕

- \*主催：(公財) 日仏会館・読売新聞社
- \*協賛：(公財) 渋沢栄一記念財団、(学) 帝京大学
- \*後援：在日フランス大使館

〔フランス側〕

- \*主催：(公財) 日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院(EHESS) 日仏財団
- \*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所
- \*協賛：(公財) 渋沢栄一記念財団、(学) 帝京大学、読売新聞社
- \*後援：在仏日本大使館

(2) フランス語コンクール

フランス語スピーチコンテスト。11月23日(土・祝)に決勝大会ならびに授賞式開催予定

3. 公益事業3：日仏両国の文化・学術研究、教育に従事する団体等との共同事業及び同団体への研究推進を支援する事業

<学術文化事業関連>

(1) 日仏春秋講座

「古代文学の現代的意味」<100周年記念イベント>

(2024年11月19日(火)、ホール、対面開催/録画配信予定)

講師：フィリップ・ボルジョー(ジュネーヴ大学名誉教授)、池澤夏樹(作家、『古事記』の現代語訳者)

司会：未定

- \*協賛：FIVES JAPAN 株式会社

(2) 日仏会館学術研究助成

- ① 日仏学術研究助成
  - ・ 日仏経済学会「フランスの経済学の知的伝統に関する研究」
- ② 日仏学者交換プログラム

- ・ 日仏教育学会 リュック・トゥルーシュ（リヨン高等師範学校名誉教授）招聘
- ・ 日仏生物学会 ルルド・ムーニアン（エクス・マルセイユ大学准教授）招聘
- ・ 日仏女性研究学会 マルティーン・リード（リール大学名誉教授）招聘
- ・ 日本フランス語・フランス文学会 ヴァレリー・ムレジェヌ（テアトル・ドゥ・ブルターニュ加盟芸術家）招聘

(3) 日仏関連学会連絡協議会

- 1) 7月頃オンライン開催予定
- 2) 12月頃対面開催予定

(4) 首都圏大学意見交換会

開催予定

(5) 日仏文化・学術・教育団体との共同事業、施設貸与

日仏会館・フランス国立日本研究所、日仏関連諸学会、親密団体、在日フランス大使館他、日仏文化・学術。教育団体が主催するシンポジウム・講演会等事業のためのホール、会議室、研究室等を提供。

<共催支援事業>

(1) TMF 日仏メディア交流協会主催「故・磯村尚徳氏追悼講演会（仮題）」

（4月中旬、ホール、対面開催）

講師：松浦晃一郎（（公財）日仏会館名誉理事長）、鈴木仁（パリ日本文化会館館長）他  
司会：大野博人（TMF 日仏メディア交流協会会長、（公財）日仏会館理事）

(2) ルネサンス・フランセーズ日本代表部主催講演会「危機の時代と日欧関係 第4の開国～日米欧グローバル・パートナーシップを求めて」

（2024年4月20日（土）、ホール、対面開催）

講師：飯村豊（元駐仏日本大使）  
モデレータ：中島厚志（（公財）日仏会館理事長）  
司会：瀬藤澄彦（ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長）

(3) 在日フランス大使館科学技術部講演会「分子ガストロノミー（仮称）」

（2024年5月24日（金）、ホール、対面開催）

講師：ラファエル・オーモン（パリ＝サクレー大学、分子料理専門家）

<協力支援事業>

日仏会館・フランス国立日本研究所主催シンポジウム「フランスにおける日本研究」

（2024年11月14日（木）、15日（金）、ホール、対面開催）

\*協力：（公財）日仏会館

4. その他事業

(1) 地方日仏協会との交流

定例の各地日仏協会との交流旅行の他、各地日仏協会との交流を推進する活動を積極的に行っていく。

(2) 親睦会

新年会等の他、100周年記念懇親会等を予定。

5. 収益事業：公益目的事業に資する財源確保のため、会館内スペースの賃貸及び公益目的  
使用時間外の会館施設の貸与事業  
店舗スペース賃貸並びに公益目的使用時間外のホール・会議室・ギャラリー、駐車場スペースの貸与。

## 6. 管理業務

### (1) 2024 年度会議の開催（予定）

- ・理事会 ①2024 年 5 月 29 日（水）  
②2024 年 6 月 14 日（金）  
③2024 年 10 月 30 日（水）  
④2025 年 2 月 26 日（水）
- ・評議員会 ①2024 年 6 月 14 日（金）  
②2025 年 3 月 14 日（金）
- ・常務役員会（月例）
- ・委員会：学術・文化事業委員会（月例）、総務委員会（月例）、渋沢・クロードル賞委員会

### (2) 役員等名簿（2024 年 2 月 1 日現在、敬称略、abc 順）

総裁	常陸宮殿下
名誉総裁	駐日フランス大使 Philippe SETTON
名誉理事長	福井憲彦、樋口陽一、松浦晃一郎
顧問	三浦信孝、柳井 準
理事長	中島厚志
副理事長	中地義和、渡辺真美
常務理事	川出良枝、河口淳子、三浦 篤、西 昭宏、澤田 直、山元 一
理事	林 玲子、林 洋子、平野千果子、中江剛介、大村敦志、大野博人、Christian POLAK、 杉山直人、塚本昌則、山本博幸、吉澤正浩
監事	五十嵐敬喜、野口真有美
評議員	Charles-Henri BROSSEAU、飯村 豊、Muriel JOLIVET、金澤千鶴子、 北島元治、北村一郎、古石篤子、西川 恵、西村篤子、岡眞理子、岡本和夫、 塩川徹也、杉浦 勉、滝澤 正、辻村みよ子、渡邊啓貴、横山悠喜、吉井篤志、 吉岡知哉
諮問委員	Jean BARTHÉLEMY、 Hubert De MESTIER Du BOURG、 Laurent DUBOIS 稲畑勝太郎、北原 隆、Michel LACHAUSSÉE、Norbert LEURET、小倉和夫 老川祥一、大井 孝、為永清嗣、梅本和義

以上